

## 第6章 水道の将来像



## 6.1 基本理念

上里町の水道事業は、これまで豊かな自然環境に恵まれ、安全で良好な水源を取水し、出来る限り低廉な価格でお客様へ供給してきました。一方で、主要な配水管および浄水場の電気・機械設備が更新時期を迎えようとしております。加えて、今後発生するおそれがある大地震等についての耐震対策の強化をしていかなければなりません。

しかし、このような中、将来の財政的見通しは、給水人口の減少が見込まれると共に、節水意識の高揚や節水機器の普及等により給水量の減少が予想されます。給水料金により賄われている水道事業の財源は、給水収益の増加を将来的に見込むことが出来ず、厳しい経営状況のもと、多大な更新費用と時間を費やすことが予想されます。

そのため、今後もすべてのお客様が継続して水の恩恵を受けられるように、50年、100年後の将来を見据えて、水道の将来像を明確にすることが重要です。

本町の将来像としては、基幹施設、基幹管路の耐震対策や、計画的な更新を行うためのアセットマネジメントシステムの導入、涵養水域並びに給水末端までの水質監視のための水安全計画の策定を図ることが重要になります。

第4次上里町総合振興計画の将来像では、『人と自然が響きあう”ハーモニーガーデン上里』を掲げ、その施策目標の一つに“安全で快適に暮らせるまち”を提案しており、上水道の充実をめざしております。

### ～上水道の充実～

将来にわたって、安全で快適な水を安定的に供給するため、水源の確保や水道施設の維持・充実を進めるとともに、経営の効率化を図り、利用者へのサービスの向上に努めます。また、節水意識を啓発し、限られた資源である水の有効活用を図ります。

上里町水道ビジョンの将来像

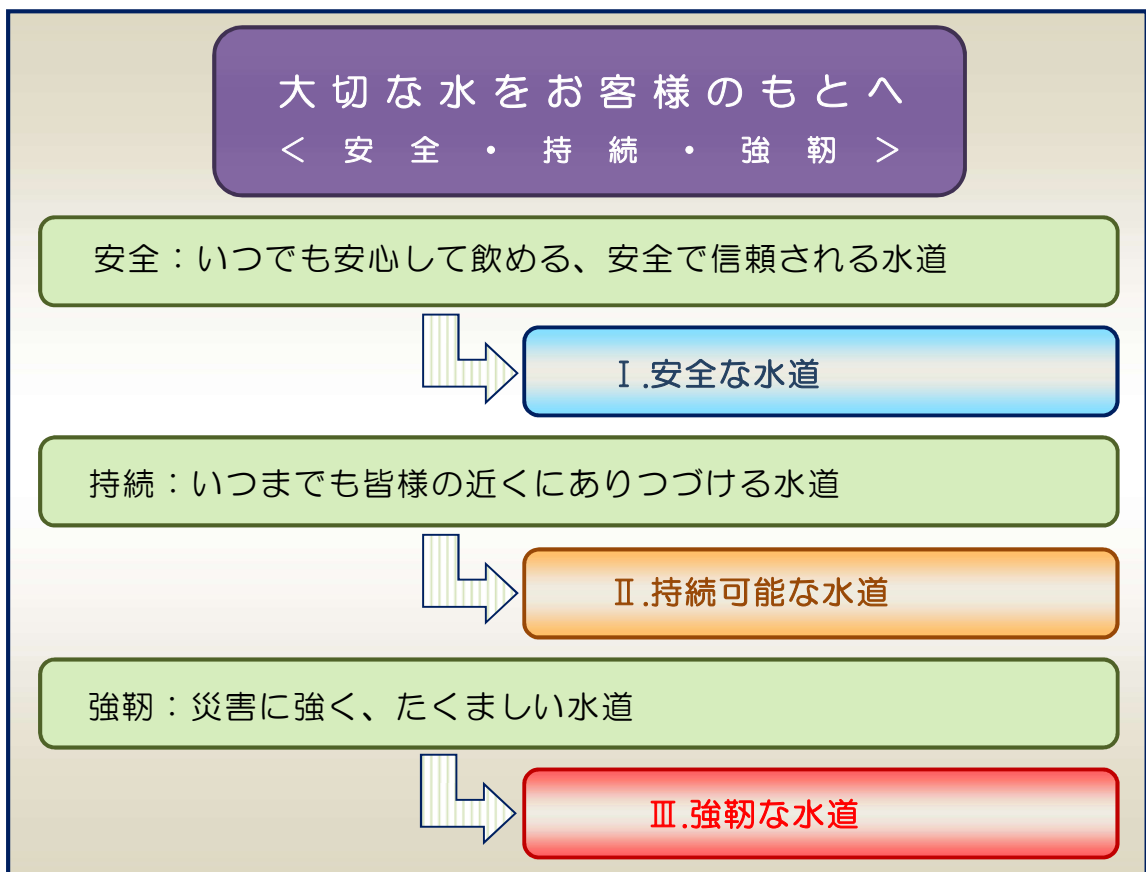
# 『大切な水をお客様のもとへ』

＜安全・持続・強靱＞

## 6.2 水道の目標

将来の人口減少社会による事業の非効率化や施設の老朽化に対応して、水質基準に適合した水を、必要な量、いつでも、どこでも合理的な対価をもって、お客様が安心して使用あり続けるために、本町では将来像として『大切な水をお客様のもとへ＜安全・持続・強靱＞』と掲げます。

図表 6.2.1 将来像および水道の目標



### ・安全な水道

本町の水源は、地下水と県水受水により賄われ、地下水の涵養域から給水末端に至るまでの水質監視を実施しております。お客様の必要な量をいつでも供給できるように、水質監視の強化や水安全計画の策定を図り、『安全な水道』を目指します。

### ・持続可能な水道

本町の50年、100年先を見据えて財政状況を鑑み、適正な維持管理により延命化を計りながら、計画的な更新によりアセットマネジメントによる事業費の平準化を実施して『持続可能な水道』を目指します。

### ・強靱な水道

今後発生する可能性のある地震に備えて、お客様の生命に関わる水の供給に影響を与えるおそれがある基幹施設や基幹管路の耐震化や被災後の対処等について、耐震化計画に基づき耐震化を履行して『強靱な水道』を目指します。

